

法政大学学術機関リポジトリ

HOSEI UNIVERSITY REPOSITORY

PDF issue: 2024-07-27

峯蓮江問日記

---

サシ時 陸葉ニテ 柏子シツク 陸葉弄

一 又もあまのうをゆのひとき時 又 驚悟子 流箱シキ木 ニ 素人のほき善不

とわつやと 言作ま時 志保 じくくシガえん也 ありく せきおる

アに腕の山と只吟せく 互あるる 左一 二 節 四リテ タイハイニ

同多也 せき 一 抄 練名と云出ス

一曲 舞と申 文官のゆく 働て 別工 大才 じくく せき 弄と

袖もむらふ へんやと 申 トウト 居ルツク ハウモヨシ 禱と

アリトハニ 一 アハストヨリ 聞に物ト云耐也 口傳

養上 面初ハソウニモ云 涙眼ニモ云

出立

後、面書盤若十リ

一 初ハ下 平カケテウニ 小袖ウチカクン コツニシツネシ 針ニテツル

ワロニ 扱ニカウク 事アハ之也 並指通成ち同也

一 扱ハヨシ 登分リ カツク 小袖丁へアモ云 著 シホイカツラ 扱がク

一 一ツスクニツカ 素人ト 立時ツクガ

一 扱ニヨリ ナサトウチハト立時 色リ 行テ 小袖シラツ 有リ ウラメシノ心ヤト

立時立 澤色ノ管ノ 彩ヨリモト立時 肩カサ 仕郎ヨリ

ウチノ 仕カクシ 行フト立時 有カク 小袖ノワハ 行テ 小袖ヲカワシ 行也

サテ 靴打ノワチヘヨリテ 南ワカクン サテ 小袖ニムカヒテイハル 時

なく 方ノソハ 行テツクガ 小袖ノ内ヨリ 脇シノソク 右ヲ 脇見アテ

又ニテツク 行 時 靴ツカフニテ 立 行 細ク 色ニ 編行 小袖シウチニ

行時行者杖珠ニテウツマカテエアル也 東南西北をとりテ  
 バラク也 マラクシラロシノハヤチヤトニ付テ杖持キリノ仕  
 度<sup>テ</sup>遠登ノ如シト云<sup>心</sup>おませり

一 田村

一 田村の事 樂松の方 梨子の平 田村

一 田村の物 とうとと 上ツミ

月ノムラテツ押アケテ云四座

アケル仕布アノ内イラセ給ヒナリト

云時一ツノ二ハ

- 一 西村の事 花の事
- 一 花の事 花の事
- 一 花の事 花の事

一 花の事 花の事

一 道盤

一 道の事 道の事

一 道の事 道の事

一 道の事 道の事

一 道の事 道の事

一 道の事 道の事

源氏傳卷

一 せりまのくつと云時一廻り廻り西の方二八〇已但度敷二八〇〇二

一 ありまのくつと云時一廻り廻り西の方二八〇已但度敷二八〇〇二

一 ありまのくつと云時一廻り廻り西の方二八〇已但度敷二八〇〇二

一 ありまのくつと云時一廻り廻り西の方二八〇已但度敷二八〇〇二

一 ありまのくつと云時一廻り廻り西の方二八〇已但度敷二八〇〇二

一 ありまのくつと云時一廻り廻り西の方二八〇已但度敷二八〇〇二

一 ありまのくつと云時一廻り廻り西の方二八〇已但度敷二八〇〇二

一 ありまのくつと云時一廻り廻り西の方二八〇已但度敷二八〇〇二

一 ありまのくつと云時一廻り廻り西の方二八〇已但度敷二八〇〇二

一 ありまのくつと云時一廻り廻り西の方二八〇已但度敷二八〇〇二

一 ありまのくつと云時一廻り廻り西の方二八〇已但度敷二八〇〇二

一 ありまのくつと云時一廻り廻り西の方二八〇已但度敷二八〇〇二

一 礼之事

禮

一 礼カワノ礼カナリイカニヤヤヤニシナリナラサナク又ヤクニ

一 礼カワノ礼カナリイカニヤヤヤニシナリナラサナク又ヤクニ

一 礼カワノ礼カナリイカニヤヤヤニシナリナラサナク又ヤクニ

一 礼カワノ礼カナリイカニヤヤヤニシナリナラサナク又ヤクニ

一 礼カワノ礼カナリイカニヤヤヤニシナリナラサナク又ヤクニ

ソノ内ハ左儀小瓶を能イワシモコイアヒクハカヨナリ

一 此ノ中ニ存ツカサズコリ石散ニテラチモシウシヨ存ヲ常ニ持テモアリ石散内

一 三ツスス尺毎ノ毎ニヤル 此ノハリノ事一タニ常ニ持テ行ハル時をカレニ時ウシヨカニツク

一 乱カクミテ此拍子ヲ三ツ踏ム

一 此ノ身ニテアツクシテ時三ツカク脇ノ言ツリ且ニ存ヲ持テ行ハル時ウシヨカニツク

一 此ノ時存ヲ三ツ踏ム脇ニヤルハツクハツヤ

一 此ノ中ニハツカハル時ハ左儀ツミクツクセツクハム時ハ拍子イカニモツカニ拍子ヨシ

一 此ノ拍子ハ能ハルハツヨシイヨモモウチヤカニウキテヤウナハカヨシヨ筋ヲシテモ

### 法理

出候ノ事ト云フハ此ノ事ノ節ノ音ノ時出候

行ハル時ト云フハ行ハル時ト云フハ

腰シヤル 是ノ時ト云フハ腰シヤルコリラハ、クワンクナニモハルト時キツクツキ目ツ

付テ思ハレ也 ツツシムモ振ト云フ時啼ナリヤリケルト時ハカリノ方ニテ行

ス身ニテ時存ヲ行ハル時ツナシイツクトモナクト云フ時ニテ一行ハル内ツクハ

云時ハ 柳ヤ傷ノ秋風ノ時西ツキン 白波ノムシモモシト云フ時松然ノ石ニテ

藤シナヒカスト云フ時ニヤ、リノ音ヨリ云フニヤ、ルサニテモハ振ノト云フ時ニヤ、ル

此ノ事ト云フト云フカラハ一和ウアケルハニカソツヒ舟ニテヨヒト云フ時ヤウテワト云フ

行ハルノイハレニカカリト云フ時ニヤ、ルハニテフミシナムハ腰ヨリヤウテワト云フ

三ツ拍子ト云フハ三ツノ事ツ別ハトヤウシツト云フ時存シヨケキトニツクハ

此ノ拍子ト云フハ三ツノ事ツ別ハトヤウシツト云フ時存シヨケキトニツクハ

三ツ拍子ト云フハ三ツノ事ツ別ハトヤウシツト云フ時存シヨケキトニツクハ

三ツ拍子ト云フハ三ツノ事ツ別ハトヤウシツト云フ時存シヨケキトニツクハ

三ツ拍子ト云フハ三ツノ事ツ別ハトヤウシツト云フ時存シヨケキトニツクハ

三ツ拍子ト云フハ三ツノ事ツ別ハトヤウシツト云フ時存シヨケキトニツクハ

正名へ出角アケニワウツ川ハウニホトモ時左ノ方へ川トヒサツウモトナリヤトモ州  
方ノ取ニテ暢シサスヲ盤ノナリノ任存ノ此ニ詳ハ定トモ時五十念ニクシトモ時詳  
入ハシカニホトモ若ハはニ年分り廻リテ任存也

通小町

六五号

京都  
小町

おのり

鳥取の河

山組母

一 可くく之時ハ格カリヨリ也  
 間草ノ中 肺ノ方ニヨシ

一 初ハ昔ノ女ハ衣ニ指ハ古ニ痒ヲ也 小池ニテ  
 カラシクトモ時ツクハナリ  
 重鬼モ色ニナリヨリトモ時啼トモ時ヲ海トモ也

一 出場スワリ換ハヨリトモ也

一 花ツククカス人トモ時空ヲ見ル  
 足指子アリ 海老トモ時足指子ヲ踏カズノ果ノ

一 軒ノ瓦ノ冠ノカタキトモ時カセツ  
 モ平テスル

一 ヨシ足袋ノ心ノトモ地ノ時 肺ヲ懸ル  
 シリレサリ時杖ニテ ムツ杖 一ノ間中 程シカスヨ



肺ノ居カスヨリトモ也



一 柞の根をハトニ時立杖ヲ捨ハ 柳ハ緑トニ時存ニテ 百ニ比サテ 市ッ  
 サスニ 紅トニ時存ニテ 市ッ 存ニテ 用アリ マムシモ 為ニトニ時存  
 右ハ 市ッ 存ニテ 市ッ スル 窓ニ入テ 市ッ 存ニテ 市ッ カサス ハウ 父 社ニ 市ッ  
 トニ時存ニテ 市ッ 存ニテ 市ッ カサス マウニ 市ッ 存ニテ 市ッ 市ッ 打トニ時存ニテ  
 ニッ 市ッ 山ニ 市ッ 存ニテ 市ッ 存ニテ 市ッ 存ニテ 市ッ 存ニテ 市ッ 存ニテ 市ッ 存ニテ

鷓

芭蕉

采女

二人  
靜

善師采

松あり

クモ年ニわリ思ひごとし時啼サチたを重一ヨリチ脈ヲ見  
カリホラケレるコト也  
みくそくん 冠くむツを重くと時右んは常と也  
我ハ松ありてナリトミ時ツクハフ

一輪珠たるもつたるもつ

# 花居古

雲乃ちウウエイ 憂カ江ほと接あり 三三こ ことれ ことツカチ ツこ 記

初白トき  
フエソトリ續也 三度 伴巻こまんとま 暁ニラクフエソトリアアコふヤトそし

佛了ケケク 巻卷トモ時 鳴ナリ

佛道修行ノクムナレトモ時 小袖 身ニツクチ 五アカリ也

巻角ニモトノ小袖ハまヒラソツトモ時 小袖ツ 晒ノ方ハナケヤレ

巻スフモ 江に浸シマモ時 二ツアリアン 鮮ツスハ 再ニツクチ

舟ツミトリツツクナレトモ時 門ニイカハカチツケ アウワトモ時 アツクハツカチニサダチ

モトヨリ 捨身ノ行フツトアリ 和ルニトモ時 トウトニハ 捨身ノ行フツトアリ

メシノハ 併リニツナフトモ時 三平ハ 忘交 流汗ノ一モトモ時 五 捨身

一存ニツクチナリ也

ナツトリモ 三足ツ 相トモ時 前ツトリス

認瓶ツ 夫レ時 ムクナリ 兼ヨリ サカリニアハ

テイトウトモ時 踊リカレトモ

八  
湯

眞實盛

一 口イカハルカニヤフト云ハス 格カケリヨリ 汎出ス 子イ切ク 一足マ行カシ

一 口カヤノミナリト云時 祿ハトト云時 一足ニ足入ク 家ヲ

一 去トトツケラス云時 是ハ勿クヨシ 自修修修ト云汎ト時 ツククアハル

一 一カシシカリテ時 五カム 〇〇〇〇

一 一カ玉家ニリリカクハウク 若客シ 祿行ニハ時 一足ニ足行ニ 修出ノ意

一 今ノヨクハ生ニト云時 大ク 〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇

一 〇〇ト 〇〇 〇〇花ヤト云時 祿ハ 今ツクリノエカト云時 若カ、ツカシ

一 シス 〇〇カウカワ又ハト云時 大ク 〇〇 〇〇一食ハ他佛ト由 一〇〇

一 胸カクン 〇〇〇云頭ツボト云時 〇〇 柳ノ岳ノ松タニ 〇〇時 〇〇

一 アイニラフ也 カミシチワリ時 カミシチノノニナワルヨシナリ 〇〇

一 上ニ時 ツクハイテ有ニテ 二ツ水シ流テ 存ノノ言ハクル也 〇〇





真平

天  
報  
海